

南山大学
編入学・転入学試験
転部・転科試験

出題の意図・解答例

2025 年度

NANZAN
UNIVERSITY

目 次

《編入学・転入学試験および転部・転科試験》

英語	1
フランス語	4
国語	6
数学	7

2025年度 編入学・転入学試験および転部・転科試験

試験科目名 英 語 時間 90分 配点 200点 (2025年2月25日実施)

〈ただし、編入学・転入学試験 心理人間学科および理工学部 配点 100点〉

【出題の意図】

AI

本設問では、大学レベルの学修に必要な英語の文法力および語彙力の総合的な運用能力を測定します。文の意味を正確に理解し、適切な語句や文法形式を選択する力を評価します。

AII

本設問では、400～600語程度の文章に最も適した文法形式、語彙、表現を選択する能力を測定します。文法、語彙、論理的な流れを考慮しながら、全体の意味を理解する力を評価します。

AIII

本設問では、200～400語程度の文章に最も適した文法形式、語彙、表現を選択する能力を測定します。文法、語彙、論理的な流れを考慮しながら、全体の意味を理解する力を評価します。

AIV

本設問では、日常的な状況における短い自然な会話を完成させることで、文法の正確さ、語彙の使用、文脈に即した応答の適切さを測定します。

AV

本設問では、短い文の中から文法的または語彙的な誤りを見つけ出す能力を測定します。動詞の時制、冠詞、前置詞、語形などへの理解を確認し、文構造に対する正確さと注意力を評価します。

B

本設問では、社会的または教育的なテーマについて、英語で意見を論理的かつ説得力をもって表現する能力を測定します。批判的思考力、文章構成力、英語表現力を評価し、大学レベルの学修に必要なライティング能力を確認します。

2025年度 編入学・転入学試験および転部・転科試験

試験科目名 英 語 時間 90分 配点 200点 (2025年2月25日実施)

〈ただし、編入学・転入学試験 心理人間学科および理工学部 配点 100点〉

【解答例】

1. B
2. A
3. D
4. A
5. D
6. B
7. D
8. C
9. C
10. A
11. D
12. B
13. A
14. B
15. B
16. B
17. C
18. A
19. D
20. A
21. A
22. B
23. A
24. D
25. A
26. C
27. C
28. A
29. C
30. D
31. C
32. B
33. D
34. A
35. B

2025年度 編入学・転入学試験および転部・転科試験

試験科目名 英 語 時間 90分 配点 200点 (2025年2月25日実施)

〈ただし、編入学・転入学試験 心理人間学科および理工学部 配点 100点〉

- 36. A
- 37. B
- 38. C
- 39. D
- 40. A
- 41. A
- 42. B
- 43. C
- 44. B
- 45. A
- 46. D
- 47. A
- 48. C
- 49. C
- 50. D
- 51. B
- 52. D
- 53. A
- 54. C
- 55. D
- 56. B
- 57. C
- 58. C
- 59. C
- 60. B

2025年度 編入学・転入学試験および転部・転科試験

試験科目名 フランス語 時間 90分 配点 200点 (2025年2月25日実施)

【出題の意図】

難易度はヨーロッパ言語参照枠の A1～A2 レベルである。

問題Ⅰは、フランス語圏における時事的な内容であるテキストを読み、文章理解力を問う問題である。フランス語で書かれた A2 レベルのテキストの内容を適切に理解し、日本語で説明する能力を有しているか評価する。

問題Ⅱは、フランス語構文の中心となる動詞の意味・用法・活用の知識を有しており、適切に使用し、表現することができるかを評価する問題である。

問題Ⅲは、フランス語での平易なコミュニケーション（やり取り）において重要な役割を担う疑問詞を正確に使用し、表現できるかを問う問題である。A1 レベルのコミュニケーションに必要な平易な語彙を理解でき、適切に質問できる能力を有しているかを評価する。

問題Ⅳは、フランス語でのコミュニケーション活動で頻繁に使用される代名詞を適切に表現できるかを問う問題となっている。また、これまで身につけた文法的知識について評価する問題となっている。

問題Ⅴは、フランス語の文法的知識を問う問題となっている。特に関係代名詞や強調構文を適切に理解し、複雑な文を構築できる表現力を有しているかを評価する。

問題Ⅵは、和文仏訳問題である。日常的なコミュニケーションで使用する表現を適切な語彙・文法を使って正確に表現できる能力を有しているかを評価する問題である。

問題Ⅶは、日常的なフランス語でのコミュニケーション場面における表現力を問う問題である。手紙・メールを書くという状況で、内容面および形式面において適切に表現できるかを評価する。

【解答例】

I.

1. オーバーツーリズム

過度に旅行者が同じ場所に同時期に集中することで生じる問題

2. イタリアのヴェネチアでは、数日滞在は無料だが、一日だけ来訪する観光客から 5 ユーロ徴収する。

日本の富士山では登頂するためには 12 ユーロ支払わなければならない。

3. インカの都市であるマチュピチュでは、保全のために政府は一日 5000 名まで入場制限し、スジトン入江では環境保全のために、訪れる際はインターネット予約が必要となる。

4. ポルトフィーノでは、毎日船で 7000 名くらいが訪れ、海岸が混雑する。写真を撮るために海岸で立ち止まることを禁止し、もし立ち止まると、高額な罰金を請求されることがある。

5. モンサンミッシェルは毎年 100 万人以上の観光客が訪れる。行列ができて人々の写真をソーシャルメディア上に掲載することで、観光客の訪れる意欲を削ごうとしている。

6. これらの 4 つの解決策はすべてを変えることはできない些細な行為である。世界中にはそれでもみなが行きたくなるくらい美しい場所がいくつもあるからである。

2025年度 編入学・転入学試験および転部・転科試験

試験科目名 フランス語 時間 90分 配点 200点 (2025年2月25日実施)

II.

- ① dois ② va ③ viens ④ Passe ⑤ écoutait
⑥ est rentrée ⑦ regardant ⑧ avais ⑨ achèterais ⑩ soyez

III.

1. Qu'est-ce que 2. Comment 3. Quelle 4. combien 5. Où
6. Quand 7. Pourquoi 8. quoi

IV.

- ① y ② en ③ les ④ lui ⑤ la
⑥ leur ⑦ le

V.

1. Je bois un café qui est très chaud. / Le café que je bois est très chaud.
2. Je veux regarder ce film dont on parle souvent.
 / On parle souvent de ce film que je veux regarder.
3. Il travaille dans le restaurant où mes amis ont dîné hier.
 / Hier, mes amis ont dîné dans le restaurant où il travaille.
4. C'est toi qui as mangé ce gâteau.
5. C'est demain que nous rencontrons Jean.

VI.

1. Ce problème n'est pas du tout simple.
2. Je me suis couché à minuit hier soir.
3. Ma sœur chante mieux que moi.
4. Quand il est arrivé au Japon, il ne parlait pas bien japonais.
5. Je suis très fatigué, parce que j'ai étudié le français pendant huit heures hier.

VII.

Chère Natalie,

Tu vas bien ?

Merci beaucoup pour ton message. Je suis très contente que tu visites le Japon au printemps.

Ce sera la saison des « sakura » (fleurs de cerisiers). Je vais t'accompagner au parc « Tsuruma » pour les admirer. On pourra aussi aller manger des spécialités régionales dans le quartier d'« Osu ».

Dis-moi quand tu penses arriver à Nagoya. Je suis vraiment impatiente de te voir.

Je t'embrasse.

Hanako

二〇二五年度編入学・転入学試験

試験科目名 国語

時間

九〇分

配点 一〇〇点

(二〇二五年二月二五日実施)

【出題の意図】

一 鈴木孝夫『ことばと文化』からの出題である。本学一年次あるいは二年次相当の国語力があるかどうかを問う問題となっている。漢字の書き取りと空欄補充・脱文挿入の問題によって国語の基礎力を問い、内容把握の選択問題で読解力を、記述問題によって読解力と表現力を問うた。

二 松尾芭蕉『おくのほそ道』からの出題である。本学一年次あるいは二年次相当の国語力と教養があるかどうかを問う問題となっている。基礎的な古語と古典文法に関する知識をもとにして古文の内容を理解する読解力と、表現力および基本的な文学史に関する知識を問うた。

【解答例】

一 解答例

問1 イ 考えてみると 問2 エ また 問3 ア こんな風に 問4 ウ ところが

問5 十指 問6 見当

問7 自動車のように一つのもので、多くの部品や材料から成り、それぞれに名前がついているように、世界の事物や性質を数えると、その数は単なる種類の合計ではなく、細かい構成要素を含めた無数のものになるということ。

問8 一般に、ものが先に存在し、ことばはそれに後から名を与えると考えられているが、それとは逆に、ことばによって人間が世界を区切り、ものとして認識するようになるということ。

問9 レッテル 問10 イ 【Ⅱ】

問11 ことばが、人間が世界を認識する際の唯一の手がかりになっていることを、世界を見るための「窓口」にたとえた比喻である。窓の形やガラスの性質が違えば見える景色が異なるように、言語の構造が異なれば、人間が世界をどのように捉えるかも異なるということを述べている。

二 解答例

問1 慈覚大師の開基であって、特に清閑な（静かで落ち着いた）土地である

問2 一度は見るべき名所であると、人々がすすめるので

問3 作者は山寺の静寂の中で、蟬の声さえもその静けさをいっそう深めるものとして感じたからである。音の存在によってかえって静けさが際立つ、心の深い静寂を表そうとした。

問4 おくのほそ道

2025年度 編入学・転入学試験および転部・転科試験

試験科目名 数 学 時間 90分 配点 200点 (2025年2月25日実施)

【出題の意図】

1.
 - (1) 積分法に関する基本事項の理解度を問うとともに、それらを適切に適用する能力を問う。
 - (2) 複素数平面に関する基本事項の理解度を問うとともに、それらを適切に適用する能力を問う。
 - (3) 場合の数と確率に関する基本事項の理解度を問うとともに、それらを適切に適用する能力を問う。
2. 数列，微分法，積分法に関する基本事項の理解度を問うとともに，解を導く思考力，その導出過程の記述力を問う。
3. 行列に関する基本事項の理解度を問うとともに，解を導く思考力，その導出過程の記述力を問う。

【解答例】

1. (1) $2 \log|x+1| - \log|x+2| + C$ (C は積分定数) (2) $4i$ (3) $\frac{3}{2}$
2.
 - (1) 順に $\frac{\pi}{2}$, 1
 - (2) 問題で示された部分積分法の等式と関係式 $\cos^2 x = 1 - \sin^2 x$ を用いて計算すると，目的の等式を得る。
 - (3) $\frac{16}{35}$
3. (1) 順に, $\begin{bmatrix} 3 & 2 \\ 1 & 1 \end{bmatrix}$, $\begin{bmatrix} 0 & \frac{1}{2} \\ \frac{1}{2} & \frac{1}{4} \end{bmatrix}$ (2) $\begin{bmatrix} 1 & 1 \\ \frac{1}{2} & 0 \end{bmatrix}$ (3) $\begin{bmatrix} 3 & 2 \\ 1 & 1 \end{bmatrix}$

発行：南山大学 入学センター
名古屋市昭和区山里町 18 番地

Phone : (052)832-3119

E-mail : nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp

U R L : <https://www.nanzan-u.ac.jp/>